

# 株式会社田中組 DX戦略 2023

2023.9.27

株式会社田中組

代表取締役 田中 康太郎



ふふ丸

# 1.DX取り組み宣言

## 【DXに取り組む背景】

人口減少と少子高齢化により、建設業界は人財不足と建設需要の低下という課題に直面しています。建設資材の高騰が続く中、お客様の予算に見合った提案を実現する必要があります。私たちは、これらの課題を解決するために、デジタル技術を活用したDXを推進しています。そして、人手不足を乗り越えつつも生産性を確保するため、デジタルを最大限に活用して取り組まなければならないと考えています。私たち田中組は、これからもDXを推進し、変化する環境に柔軟に対応しながら、お客様とのパートナーシップを強化し、持続可能な成長を実現していくことができると信じています。

## 【社長が目指すビジネスモデル】

建設業・不動産業界の状況は、日本社会の成熟化、少子高齢化などの影響、コロナ禍のあとの急激な円安や物価高が追い打ちをかけ、持ち家の着工戸数は減少傾向が続き、年間25万戸割れも見えてきており1960年以來の低水準となっております。このような厳しい状況を考えるとこれまでのような「建てて売るフロービジネス」には限界があります。一方で、既に不動産を保有しているお客様にとっては、不動産資産のメンテナンスや有効活用は重要な問題であります。田中組では、このようなニーズに対応するためにお客様の保有資産を維持・向上するための「ストックビジネスへの転換」を図っています。

## 2.経営理念・経営ビジョン

### 【経営理念】

- ▼お客様第一主義 お客様が全てに優先し、グループ全てがお客様の為に存在します。
- ▼社員の幸福 社員はお客様に高く評価される「グループの人財」を目指します。会社は社員と共に成長します。
- ▼地域社会性 地元密着企業として、「利他」の心を大切に、お客様、地域社会と共通価値の創造に努めます。地域社会、お客様に必要とされる企業を目指します。
- ▼経営は継承 「お客様第一主義」「社員の幸福」実現には継続・繁栄していく事が必要不可欠です。

### 【経営ビジョン】

私たちは、デジタル技術やデータを活用することによりお客様の本当のお困りごとや真のニーズを受け止め、お客様の未来を見据えた維持・管理の提案を行うことができる建設業の強みを生かしたDXを推進し、建物を建ててから不動産の維持・管理まで行う「トータル建設サービス業」として「エリア内地域No.1企業」になることを目指します。

# 3.DX戦略

田中組は、経営ビジョンを実現するために以下のDX戦略を立案し、デジタル技術やデータを駆使しお客様が所有する不動産資産の価値を上げるための商品・サービスを提供することにより、お客様の満足度を向上させてまいります。

## 戦略①

### お客様の満足度向上

- お客様の真のニーズを把握するためのサポート室の設置、人員拡大(無料診断サービスの提供)
- データドリブンによる新商品・サービス開発及び未来を見据えた提案(BIMをつかった建物の見える化、データポータル活用)

## 戦略②

### 社内バックヤードの生産性向上



- 報告書・提案書などをデータ化しペーパーレスを進める。
- ツールを駆使しデータで意思決定できる環境を整備し、業務改善につなげる。
- ファミライフブランド価値の認知度向上(ふふ丸看板の浸透、情報発信)

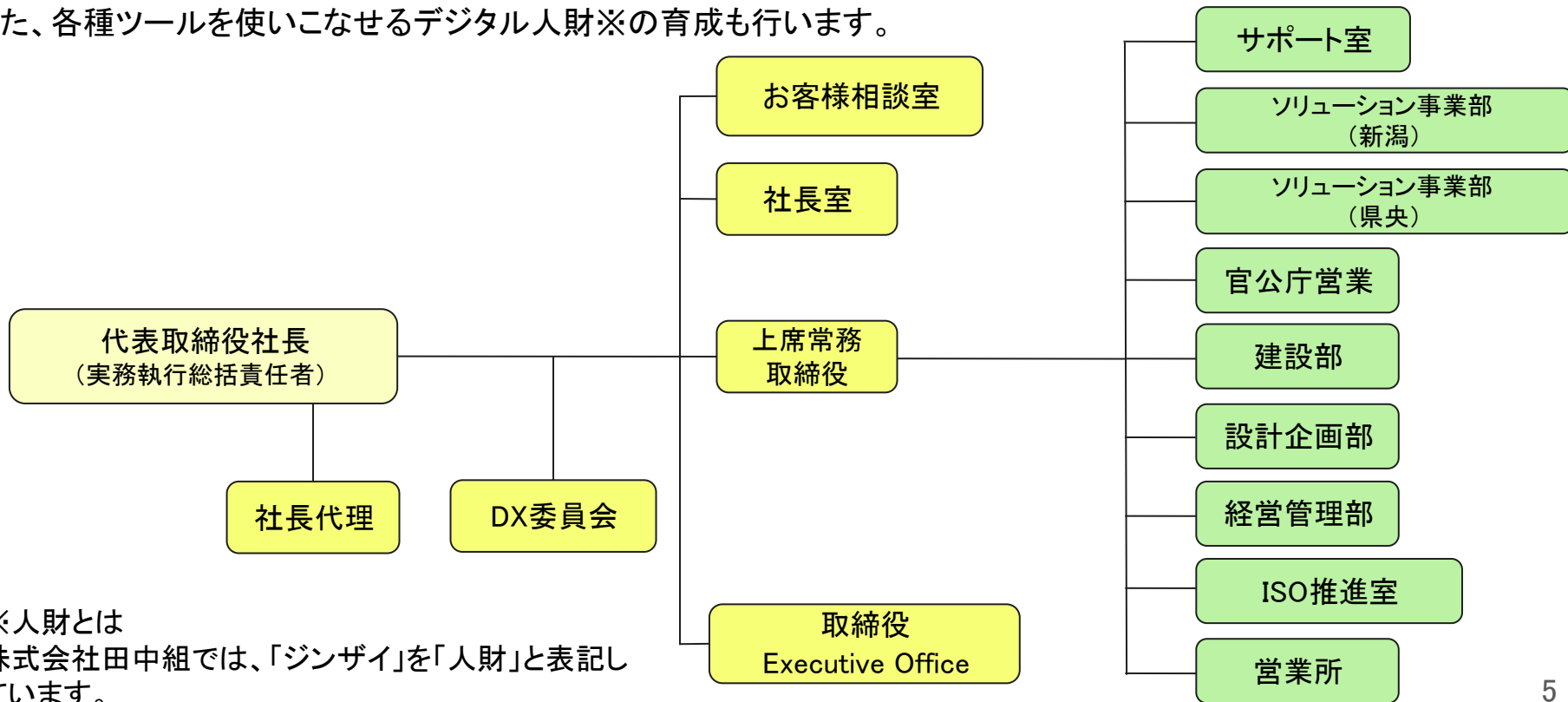
## 戦略③

### トータル建設サービス業を支える人財の育成

- お客様対応やビジネスパートナーとの取引などを通じた社員の成長を促進
- トータル建設サービス業を実現していくデジタル人財を育成(デジタル技術やデータを駆使し、お客様に信頼される能力、課題を把握する能力、提案力を身に着けた人財)

# 4.体制・人財育成

当社のDXは、実務執行総括責任者である代表取締役社長を中心とした、DX委員会を設置し、定期的に打合せを行い進捗管理を行い推進します。  
また、各種ツールを使いこなせるデジタル人財※の育成も行います。



※人財とは  
株式会社田中組では、「ジンザイ」を「人財」と表記しています。

## 5. デジタル技術、環境整備

(1) 予算: 今後ともデジタル技術の活用が田中組の発展の鍵であることを認識し、毎年売上げの1%をデジタル技術に投資します。

(2) レガシーシステムの刷新方針: これまでも適宜古いシステムのリニューアルをおこなってきましたが、今後も継続して刷新していきます。

## 6.数値目標(KPI)

DX推進の達成状況を測る指標として下記を定めます。実行計画を立案したうえで、取り組みを行い、各部署ごとに目標値の達成状況を月1度評価を行いながら目標達成できるようPDCLAサイクルを回していきます。

区分		取り組み内容	時期	目標値
戦略①	お客様の満足度向上	お客様の真のニーズを把握するためのサポート室の拡大	2025年まで	サポート室による無料診断サービスの実施数50件
戦略②	社内バックヤードの生産性向上	報告書・提案書などをデータ化しペーパーレスを進める	2025年まで	ペーパーレス化60%達成
		ファミライフブランド価値の認知度向上	2027年まで	ふふ丸看板設置数 累計600枚
戦略③	トータル建設サービス業を支える人財の育成	トータル建設サービス業を実現していくデジタル人財を育成	2025年まで	BIMや3CADを活用できるデジタル人財育成3人
		データドリブン経営の実践教育	2027年まで	データドリブン教育研修の実施 年4回